

# スキルアップ講座 SDGs をどう活かすか？アンケート結果

平成31年3月18日（月） 午後1時30分～

会津美里町公民館

参加者 19名（事務局含む） アンケート配布 15 回収 14 回収率 93%

## ①今日の講座の満足度を教えてください。

期待はずれ	こんなものでしょう					満足	
0	1	2	3	3.5	4	4.5	5
人数			3人	1人	6人	1人	3人

## ②この講座に参加した理由は何ですか？（いくつでも○をつけてください）

- |                     |    |                 |    |
|---------------------|----|-----------------|----|
| 1、テーマに関心があったから      | 12 | 2、自分のための学習になるから | 12 |
| 3、仕事などで必要だから        | 2  | 4、強力にすすめられたから   |    |
| 5、みさとねっとの講座は毎回面白いから | 3  | 6、なんとなく         |    |
| 7、その他               |    |                 |    |

## ③今日の講座で一番印象に残ったところはどこですか？（心に残った言葉、単語など）

- ・協働についての考え方など。
- ・それぞれの立場を信頼・尊重
- ・協働自体を参加者にわかりやすく解説していただいた。
- ・協働のプロセス
- ・市民と行政との協働（立場を信頼・尊重する）
- ・協働することに対して期待される効果を考えるにあたり、メリット・デメリットとして考える必要性。
- ・協働する場合の場（行政）は結局おおごとになりがちで、こちら側も負担が大きいので悩むところ…
- ・協働事業を創るまでのプロセスが解説されたこと。
- ・市民が市民の目線で市民の活動を考える。
- ・復興支援専門員（事業）
- ・事業の成功には相互理解が大事！・目的共有！全てはここ！
- ・事業の振り返り（第三者の評価）
- ・P8の市民協働とは①②
- ・どのように協働するのか→協働のプロセス→期待される効果
- ・大変感動し、参加して良かったです。
- ・協働にもソフトなものからハードなものまで色々あるということ。

## ④今日の講座は今後どんな場面で役立ちそうですか？

- ・イベントや今後の活動に参考になった。・今後に活かしたいです。
- ・まちづくりへの提案として活用したい。
- ・旭ねっばすと行政との共催について
- ・南湖公園の事例のようなことが美里町では何か考えられるのか、グループでの話し合いがあっても良かったのでは？
- ・自分が今計画している居場所作りにおいて。
- ・市民活動を進める様々な面で役立ちそうだ。
- ・地域の課題を見つけていきたい。
- ・日々の生活活動のなかで、頭のど真ん中に置いて行動していく。
- ・PTAでの新規事業。(各々の役割をPTAだとどうなるか？考えるにきっかけになりました。)
- ・仕事をしていく上で核になる
- ・今までの事業を振り返るとともに、今後に活かしていくための課題があったので大変参考になりました。
- ・他の地区住民からの参加希望があるため、概念図を作る。イメージを共有する。相乗効果を生み出す。協働事業のプロセスを生かす。第三者による評価を受けることで、次に繋げる。

## ⑤今日の講座でよくわからなかったところ、もう少し詳しく知りたいと感じたところはどこですか？

- ・講演などをしていただく場合は、行政などに許可を求める必要はありますか？
- ・いかに住民が声(課題)を出すか、住民が動くよう意識づけをどうするか。
- ・行政内での職員の意見はどのように聞き出していけば良いのか？

## ⑥その他自由記入欄

- ・話し方も非常に丁寧でわかりやすく大変良かったです。
- ・公開の重要性を知りました。
- ・以前のNPOの仕事で、県営住宅の滞納家賃(県で2億円以上)に協働の基金活用など、ちょっと思案したことがあります。(妄想のようなものですが)
- ・本日はありがとうございました。NPOではありませんが、商工会議所青年部委員長、またPTAとしてとても参考になりました。もっと若い人に聞いてほしい～
- ・講座の雰囲気になごやかさの中で温かみを感じました。
- ・3月18日の午後は他にも講座が予定されていましたが参加して良かったです。もっと多くの方々の参加があればと思いました。

### 【 みっと考察 】

年度末ということと、PRが行き届かなかったこともあり、参加者は少なめだった。

アンケートにもあったが、ちょっとしたグループワークがあると良かったかもしれない。

会津美里町にも小規模多機能自治を見据えた「協働の指針」を検討していく必要性を感じた。

また、普段から協働のタネを探せるような情報交換、情報提供について中間支援をしていくことも、みさとねっとして必要な業務と感じた。まずはホームページの団体情報を更新しなくては…